

參考資料

災害時のアスベスト飛散防止対策について

年　月　日
北九州市環境局

災害発生時に初動対応にあたる際には、建物の倒壊等によりアスベスト含有建材が露出している可能性があるので、以下の事項を参考に、アスベストの暴露防止に留意してください。

なお、吹付けアスベストなどが露出している状況を確認した場合は、北九州市環境局環境監視課（電話：093-582-2290）にご連絡ください。

1. 鉄骨造又は鉄筋コンクリート造の建築物について、

- ① 建築年が平成7年（1995年）以前の建築物は、1%以上（昭和50年（1975年）以前は5%以上）のアスベストを含有する吹付け材が使われている可能性があるため、外観からの目視により飛散性アスベストの露出の有無を特に確認する。

※ ただし、平成7年以後の建築物であっても、0.1～1%のアスベストを含有している可能性がある。また、木造建築物であっても、飛散性アスベストを使用している可能性があるので、留意が必要。

- ② 断熱材や配管の保温材等についても、アスベストを含有するものが使用されていることがあるので、破損等の有無を確認する。

【アスベスト使用要注意箇所】

鉄骨造	鉄骨の耐火被覆（鉄骨全面に施工）
鉄骨造及び 鉄筋コンクリート造	機械室、ボイラー室、空調機室、電気室等 (石綿含有吹き付けの施工)
建築設備	空調機・温水等の配管（保温材）、 煙突等のライニング

- ③ その他アスベスト含有建材（成形板等）についても、建材の破損等により石綿が飛散するおそれがあることから、注意が必要。

2. 被災建築物の立入りについては、応急危険度判定の情報等を確認して対応にあたる。

3. 作業にあたっては、呼吸用保護具（防じんマスク）を着用する。

4. アスベストが飛散するおそれがある状況が確認された場合は、以下の応急措置を講じる。

- ・ビニールシート等での養生により、飛散防止を図る
- ・散水・薬剤等の散布を行い、湿潤化・固形化等の措置を行う
- ・養生・散水等が行えない場合は、最低限、石綿へのばく露を防ぐため、ロープ等によって立ち入り禁止とする。

【アスベスト含有建材の例】



鉄骨造の梁・柱の耐火被覆



機械室の壁・天井の断熱



煙突の断熱材



保温材（配管等）



天井のスレート板

問合せ先

北九州市環境局環境監視課 石綿騒音係

電話：093-582-2290

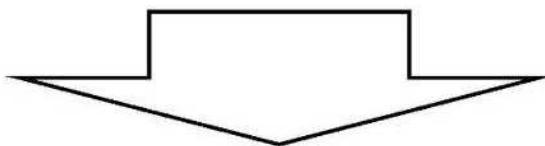
様式①

災害時における石綿の露出(※)に関する送付票

※建築物の天井等に使用されている石綿含有吹付け材などが、災害による建築物の損壊で、外気に触れる状態になったり、天井等から脱落し周囲に散乱したりすること。露出すると、風等の影響により石綿が飛散するおそれがある。

受付日	年 月 日 時 分		
受付者	部署	<input type="checkbox"/> 保健福祉局医務薬務課 <input type="checkbox"/> 門司・若松・戸畠・小倉北・小倉南・八幡東・八幡西 区役所保健福祉課 <input type="checkbox"/> その他()	
		氏名	電話番号 ()

通報者	氏名	<input type="checkbox"/> 匿名希望	
	電話番号 ()	結果報告	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
通報内容	場所	門司・若松・戸畠・小倉北・小倉南・八幡東・八幡西 区 (番地等が不明確な場合は周辺の目印:)	
	内容	<input type="checkbox"/> 建物に石綿が使用されているのではないか。 ⇒【対象物】雨風にさらされているか。 <input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 石綿のようなものが路上に散乱している。 <input type="checkbox"/> その他()	
(備考)			



送付先 環境局環境監視課 石綿騒音係 行

FAX : (093)582-2196 電話:(093)582-2290
 E-mail : kan-kanshi@city.kitakyushu.lg.jp

令和5年10月版

大気汚染防止法が改正され、令和3年4月から 石綿(アスベスト)飛散防止策が強化されました。

規制対象の拡大

規制の対象に、新たに「**石綿含有成形板等(レベル3建材)**」が追加されました。レベル3建材の除去については作業実施届出は不要ですが、作業基準を遵守する必要があります。



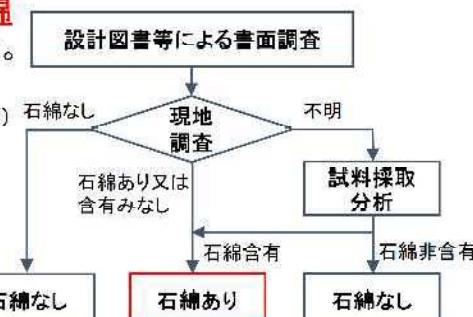
- 切断や破碎等をせず、手ばらし等で原形のまま取り外してください。
- 手ばらし等が技術上著しく困難なときに限り、対象建材を薬液等で湿潤化してから除去してください。
なお、けい酸カルシウム板第1種を手ばらせずに除去する場合は、湿潤化に加えて周辺の養生も必要です。

事前調査の実施

- 建築物等の解体・改造・補修工事を行う際は、**石綿含有建材の使用の有無を調査**する必要があります。

また、**事前調査の方法が法定化**されました。

(右図の手順参照)



- 令和4年4月からは、**事前調査結果を北九州市へ電子報告する必要があります。**

- 令和5年10月からは、**事前調査は「建築物石綿含有建材調査者」等の資格者が実施する必要があります。**(令和5年10月1日着工の工事から対象)

石綿含有建材の使用箇所の例

<戸建て住宅>

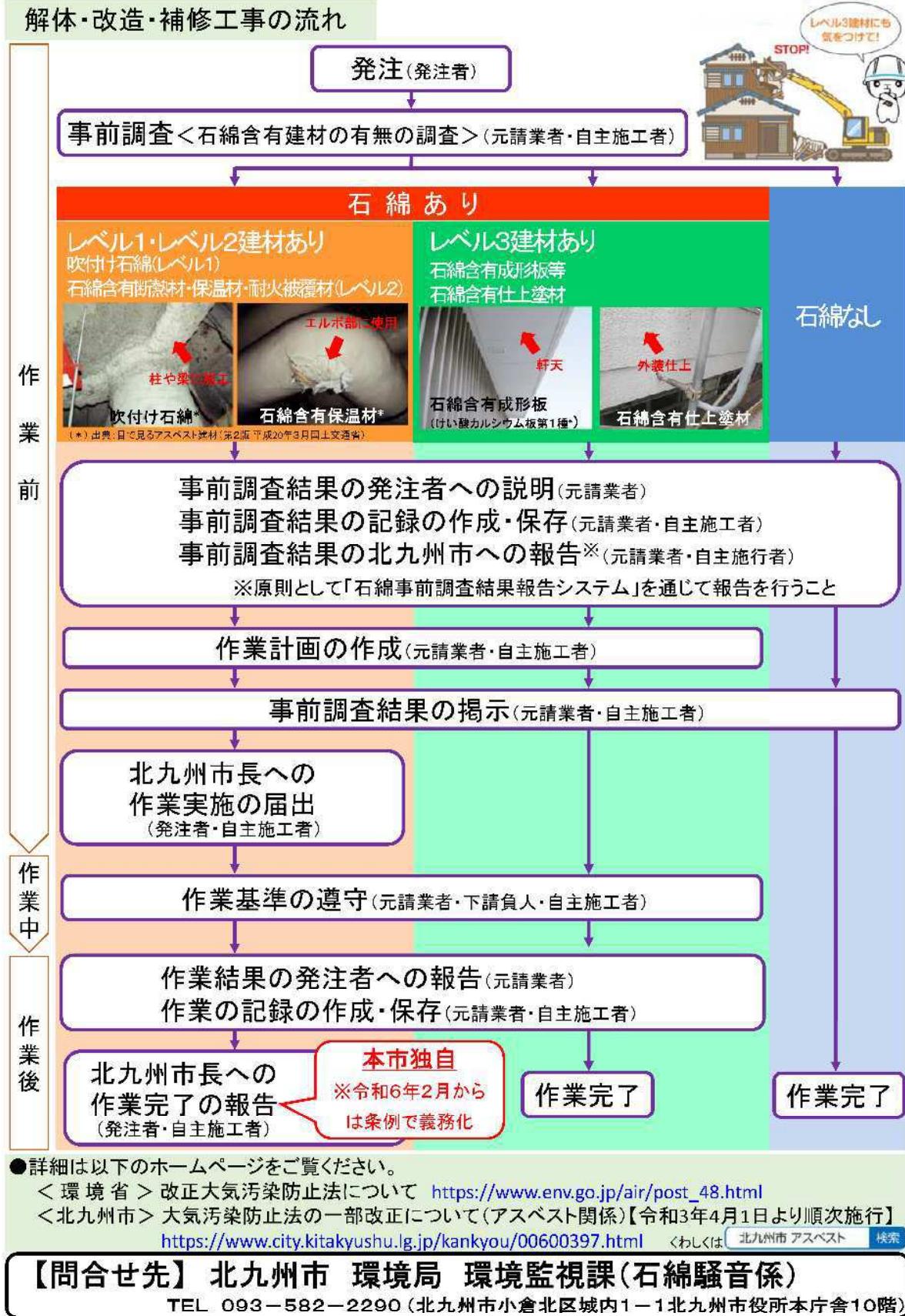


- ① 石綿含有窯業系サイディング
- ② 石綿含有建材複合金属系サイディング
- ③ 石綿セメント円筒
- ④ 石綿含有住宅屋根用化粧スレート
- ⑤ 石綿含有ルーフィング
- ⑥ 石綿含有けい酸カルシウム板第1種
- ⑦ 石綿含有せっこうボード
- ⑧ 石綿含有壁紙
- ⑨ 石綿含有ビニル床タイル
- ⑩ 石綿含有ビニル床シート



出典：目で見るアスベスト達 (第2版 平成20年3月国土交通省)

© ていたん＆ブラック ていたん, 北九州市



解体作業におけるアスベスト対策

アスベスト含有成形板等のレベル3建材は多くの一般家屋にも使用されています。解体に際しては、作業員や周辺住民の健康被害を防止するために、適切な対策が必要です。

法律等で定められた以下の事項を守り、安全な作業をお願いします。

解体作業に入る前の遵守事項

- 事前調査結果を掲示しておくこと（レベル3建材の使用箇所を明記）。

※作業員および周辺住民に周知するために必要です。
- 適切な作業を行い、アスベストによる作業員の健康被害を防止するために、次の事項を示した作業計画を作成し、作業員に周知すること。
 - ・作業の方法、手順
 - ・アスベスト粉じんの発生を防止、または抑制する方法
 - ・作業員へのアスベスト粉じんのばく露を防止する方法
- レベル3建材撤去作業で使用する防じんマスク（RL-3）、湿潤化のための機器や手ばらし作業のための工具類を準備すること。

レベル3建材の撤去作業時の遵守事項

- 石綿作業主任者技能講習修了者の中から石綿作業主任者を選任すること。
- 全ての作業員が石綿取扱作業員特別教育を受講していること。
- 作業員は防じんマスク（RL-3）を必ず着用すること。
- 湿潤化（薬液等の噴霧）し、可能な限り手ばらしにより撤去すること。
- アスベスト含有廃棄物として、適切に分別、保管、搬出すること。

アスベストによる健康被害

- アスベストばく露後、15～40年程度経過後に肺がんや中皮腫等を発症する可能性があります。
- アスベストが原因の中皮腫により、年間1000人以上の方が死亡されています。
- 阪神・淡路大震災では災害復旧作業に従事した作業員が中皮腫で亡くなり、労災認定された方がいます。

【問合せ先】

- ✓ 作業員のアスベストばく露防止に関する事 → 下記管轄の労働基準監督署
 - ・八幡東区、八幡西区、戸畠区、若松区：北九州西労働基準監督署（電話：622-6550）
 - ・小倉北区、小倉南区 : 北九州東労働基準監督署（電話：561-0881）
 - ・門司区 : 北九州東労働基準監督署門司支署（電話：381-5361）
- ✓ 解体作業現場からのアスベスト飛散防止に関する事 → 北九州市環境局環境監視課
(電話：582-2290)

立入検査報告書

月 日	担当者 石綿騒音係	係長 課長	
--------	------------------	--------------	--

立入検査報告書 (建築物解体工事等に係る石綿含有建材の事前確認)

工 名 事 称	建り <input type="text"/> - <input type="text"/>		工 場 事 所	<input type="radio"/> 門司区 <input type="radio"/> 小倉南区 <input type="radio"/> 八幡東区 <input type="radio"/> 若松区 <input type="radio"/> 小倉北区 <input type="radio"/> 福岡市西区 <input type="radio"/> 八幡西区 住所		
施工 業 者	発注者 発注者名 連絡先		請負者 事業者名 連絡先			
検 査 報	立入年月日			立入時間	～	
	立会者		<input type="checkbox"/> 先着 <input type="checkbox"/> 下詰 <input type="checkbox"/> その他	立入者	<input type="radio"/> 東部 <input type="radio"/> 西部	立入 人数
	棟年数	年	階数	階	<input type="radio"/> 設計図書 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
判 総 断 合	<input type="radio"/> 問題なし <input type="radio"/> 経過観察 <input type="radio"/> 要再度立人					
検 査 項 目	1. 建材使用の有無 (日規や設計図書)		2. 石綿含有の有無 (設計図書や業者ピアリング)		3. アスベス・アセラマイザー結果 (確認方法が「日規」の場合は必須)	
	【吹き付け材】(レベル1)		【石綿含有】	【確認方法】	【石綿含有】	【アセラマイザー結果】
	天井	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—
	壁	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—
	鉄骨	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—
	柱	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—
	はり	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—
	エレベーター・シャフト	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—
	その他:	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—
	その他:	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—
特 記 事 項	【耐火被覆材】(レベル2)					
	【石綿含有】		【確認方法】	【石綿含有】	【アセラマイザー結果】	
	煙突	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
	屋根用折板	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
	配管	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
	プラント	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	—	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
(石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板等(レベル3)の使用等について)						